

空地・空家を活用、 新しいまちづくり

法改正に向けて

国は、超高齢化・人口減少に対応する住民主体のまちづくりを誘導するため、土地関係法や地域福祉（「我が事・丸ごと」の地域づくり等）関係法の法改正を着々と進めている。しかし、多くの地域において、法改正を活用して住民主体でまちづくりを実践する準備は不十分と考えられる（法改正の不十分さもあることは前提）。

空地・空家問題は、日本の津々浦々でご近所の問題、地域の環境問題になりつつある。ゆえに、少なからずの私達は、近隣に空地・空家問題が存在するならば、関係住民として他住民との連帯と協働を通して問題の解決に取り組む必要性に直面しうる。

本フォーラムでは、住民が主体となり推し進める新しいまちづくりの視点から、空地・空家の公益に資する活用（例：地域福祉の社会資源として）に関する合意形成、活用の担い手となる住民組織への期待を議論していく。

2019.7.20[土]

13:30～16:30

会場 千葉商科大学丸の内サテライトキャンパス

JR 有楽町駅徒歩 2 分

千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル 1 階（お堀側）

会費 無料

問合せ 千葉商科大学大学院・
社会人教育センターオフィス
047-373-9755 担当：佐藤
grad@cuc.ac.jp

■登壇者

原科幸彦（千葉商科大学学長）

松本暢子（大妻女子大学教授）

高橋巖（日本大学教授）

■コメンテーター

五十嵐敬喜（法政大学名誉教授）

糸長浩司（日大生物資源科学部特任教授）

■問題提起者

桑原洋一（葉山「風早茶房」店主）

■司会者

野口和雄（都市プランナー）



主催：千葉商科大学大学院政策研究科 共催：現代総有研究所
協賛：低炭素社会推進会議 後援：公益社団法人 日本不動産学会

■登壇者プロフィール



原科幸彦●東京工業大学理工学部卒業、同大学院理工学研究科博士課程修了（工学博士）、東京工業大学工学部教授などを経て、同大名誉教授。国際影響評価学会（IAIA）元会長。2017年3月千葉商科大学学長就任。環境計画・政策が専門、参加と合意形成研究、環境アセスメント研究の第一人者として広く知られている。



高橋 隆●日本大学教授、農業経済学・地域経済論・協同組合論 日本大学大学院博士前期課程修了。農協系研究所等を経て2005年より日本大学助教授、2012年より現職。博士（農学）。著書『高齢者と地域農業』（家の光協会, 2002年）, 『地域を支える農協—協同のセーフティネットを創る』（編著, コモンズ, 2017年）ほか。



糸長浩司●日大生物資源科学部特任教授、環境建築、農村・都市計画、パーマカルチャー、エコビレッジ。低炭素社会推進会議幹事、日本建築学会地球環境委員長、エコロジー・アーキスケープ理事長、農村計画学会顧問。住民参加型のむらまちづくり研究、原発災害汚染実態解明と二地域居住提案等。



桑原洋一●葉山「風早茶房」店主。チェンジデザインワークス株式会社代表、コミュニティカフェを拠点に超高齢化の下での地域福祉、社会資源開発らの実践研究中。日揮、コカ・コーラ、ファイザーにて、多様なエンジニアリング、戦略、変革プロジェクト経験を積む。博士（政策研究@CUC）、MBA、工学修士。



松本 暢子●大妻女子大学社会情報学部教授、住宅地の更新と家族の住生活史の分析、ハウジングと都市計画の連携、基礎自治体の住宅・まちづくり。現在、行政、民間事業者、住民の協働による居住支援協議会の設立など、地域福祉と住宅政策の連携によるまちづくり・居住問題の解決に取り組んでいる。



五十嵐敬喜●現代総有研究所所長、法政大学名誉教授（都市政策・公共事業論、立法学）、弁護士。日照権、景観権、土地基本法などの裁判や立法に関与。真鶴町「美の条例」制定。内閣官房参与として東日本大震災復興に尽力。住民主体のまちづくりとそれをささげる現代総有研究をライフワークにしている。



野口和雄●都市プランナー（有）野口都市研究所代表取締役、横浜商科大学講師。専門は都市計画制度論。白井市まちづくり審査会会長、武蔵野市まちづくり委員会副委員長。武蔵野市、流山市、練馬区等各地のまちづくり条例の起案作業に関与。「改正都市計画法」（自治体研究社）、「自治体都市計画の最前線」（共著、学芸出版社）等。

■プログラム

- 13:30 挨拶 - 原科幸彦 千葉商科大学学長
- 13:35 挨拶 - 栗林隆 千葉商科大学大学院政策研究科委員長
- 13:38 プログラムの説明と土地法制の改正動向(野口)
- 13:53 問題提起 - 住民主体の新しいまちづくりの阻害要因
：合意形成の基盤となる情報共有と周知機能未整備、
目的合理的な責任能力のある住民アソシエーション
機能の未整備(桑原)
- 14:13 空き家の利活用と地域福祉の拠点づくり(松本)
- 14:28 地域社会のための協同労働の協同組合活動
ースペインの事例を中心にー(高橋)
- 14:43 住民主体の合意形成への期待、専門家の役割(原科)
- 14:58 休憩
- 15:08 コメント(五十嵐、糸長)
- 15:18 住民主体のまちづくり、実践の論点と処方箋案に
ついての議論(会場内全員)
- 16:27 挨拶 - 榎戸敬介
千葉商科大学大学院政策研究科教授
- 16:30 閉会
- 17:00 懇親会開始(同会場内・無料)

■参加申込

定員：70名(要申込・先着順)

参加をご希望の方は、下記申込フォーム(またはQRコード)より事前申込をお願いいたします。

※申込完了時に自動返信メールを送らせていただいております。しばらくしても自動返信メールが届かない場合はお問合せください。

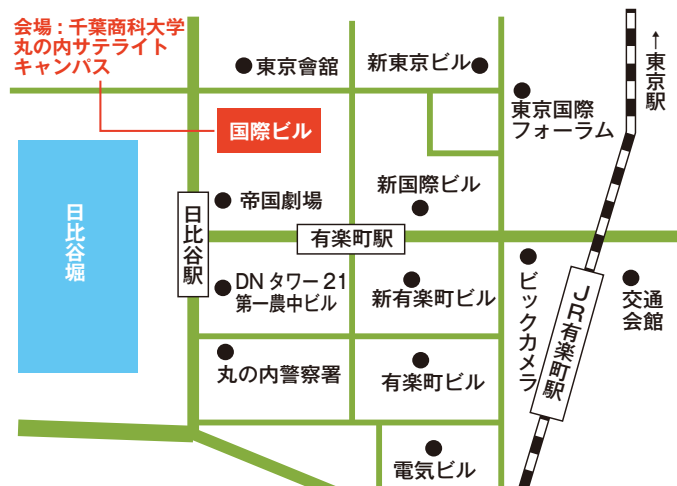
※ドメイン指定受信をされている場合は、「@cuc.ac.jp」からの受信ができるように設定をお願いします。



PC用：<https://portal.cuc.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Xuc003&id=5731639400>

SP用：<https://portal.cuc.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml?guestlogin=Xuc503&id=5731639400>

■アクセスマップ



JR「有楽町駅」より徒歩2分、東京メトロ有楽町線「有楽町駅」直結、都営地下鉄三田線「日比谷駅」直結
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル1階(お堀側)